

温泉総選挙2023で1位を獲得した夕日ヶ浦温泉の宿で 事業引継ぎ 【親族内承継】

～京都の支援ネットワーク連携により事業承継計画策定支援が完了～

新海荘（京都府京丹後市） 経営者 松本豊明さん（67歳）
後継者 松本将輝さん（34歳） 長男

《支援協力》 京都北都信用金庫、京丹後市商工会（久美浜支所）、
京都府「金融・経営一体型支援体制強化事業」

相談者（企業）の概要および支援の経緯

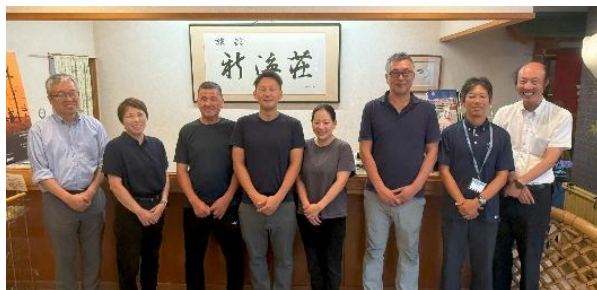
▶新海荘は、温泉総選挙2023の絶景部門において、1位を獲得した美人の湯・夕日ヶ浦温泉（京都府京丹後市）にある。1972年に豊明さんの妻の親（父が漁師、母は織物業）が創業し、1997年11月に現在の地にて営業を開始した旅館。新鮮な魚介料理、特に冬の松葉ガニやフグ料理で賑わう人気の宿。

▶豊明さんが体調不良のため、事業に携わるれなくなっていた折、修行に出ていた将輝さんが帰郷し家業に従事するようになった。

▶しかし、コロナ禍の影響による売上減少やその後の物価高による原材料高騰、顧客や従業員の高齢化といった事業継続のリスク要因が山積している中で、事業を任されていた将輝さんが事業拡大に向け法人化と並行しながら事業承継を進めていくために、地元の金融機関・京都北都信用金庫に相談し、同金庫の紹介でセンターの面談に至る。

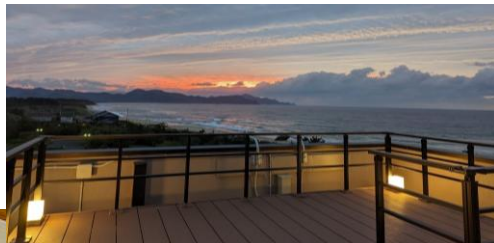


将輝さん（後継者）と
豊明さん（経営者）



新海荘の皆さんと支援者の方々

▶事業承継引継ぎ支援センターは外部専門家派遣（公認会計士）により、法人化のメリットデメリットの説明を行ったうえで法人化に向けた課題抽出と解決すべき方針とスケジュールを整理し、事業承継計画策定に取り組む。



展望デッキからの眺め



各支援機関及び当センターの支援内容

▶事業については京都府の支援事業である「金融・経営一体型支援体制強化事業」や京丹後市商工会久美浜支所に相談し、集客・売上拡大の支援を受ける。



ひとこと

厳しい経営環境にある京都北部の宿泊業の中で、後継者が主体的に事業を何とかしようという姿勢が行動に見られ、頼もしく感じました。また、地域の支援機関も後継者の姿勢に対し献身的な協力を行っており、経営者交代後に多くの魅力ある地域の観光資源を活かした事業展開に期待しています。

京都府事業承継・引継ぎ支援センター
承継コーディネーター 梅原克彦

支援を通じて特筆すべき事項

▶初回面談の段階で後継者である将輝氏がローカルベンチマークを活用し、事業の分析を行っており、その姿勢に法人化と事業承継に対する真摯な取り組み姿勢を強く感じた。

▶また、事業拡大のために支援を受けている京都府の「金融・経営一体型支援体制強化事業」や商工会の支援に対して、若女将である将輝氏の妻も献身的な協力する姿勢が見られ、将来の事業展開に真剣に向き合う姿が素晴らしかった。